

平成23年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】（第3回）

1. 調査の概要

今後5年以内に具体的な住宅取得に伴い、民間住宅ローンを利用予定の方を対象にして、住宅取得に向けた行動や利用予定の住宅ローンの金利タイプなどに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施(2/14～2/22)し、その結果を取りまとめたものである。回答数:1046件。

2. 調査結果の主なポイント

(1) 「全期間固定型」「固定期間選択型」の希望は減少、「変動型」は増加

- ・ 「全期間固定型」の希望割合は32.6%(前回調査33.4%)に減少、「固定期間選択型」は32.6%(前回調査:35.2%)に減少し、「変動型」は34.8%(前回調査:31.4%)に増加している。 <p.2>

(2) 住宅の買い時意識は上昇

- ・ 今(今後1年程度)は、住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、46.5%に増加し、「分からない」は40.1%に減少、「そうは思わない」は13.5%に減少している。 <p.6,7>

(3) 住宅取得にあたっては「価格・費用」も「耐震性能」も重視する方が増加

- ・ 住宅取得時に特に重視するものを前回調査と比較すると、「価格・費用」「耐震性能」が増加している。 <p.10>
- ・ 耐震性能重視者の対応は、「耐震性能を高めたい」が最多となっており、前回調査との比較では、「地盤調査・地盤改良工事を行いたい」が増加している。 <p.11>
- ・ 省エネ性能重視者の対応は、「太陽光発電設備を設置したい」が最多となっており、前回調査との比較では、「オール電化住宅にしたい」が増加している。 <p.14>